

News Release

2021年5月27日
独立行政法人製品評価技術基盤機構
NITE（ナイト）
東北支所

調理家電の落とし穴！ ～汚れた電子レンジ・オーブントースターはNO!!～ （東北版資料）

1. 事故の発生状況

新型コロナウイルス感染予防のため、外出自粛により外食などにも出かけられず、ご家庭での料理や、料理の宅配サービスの利用など、ご家庭で食事する機会が多いと思います。また、以前にお知らせした「おうちでのキャンプ」などで、少し手の込んだお料理などもされている方が多いのではないのでしょうか。

調理家電は様々な便利なものが販売されており、家電製品の中でも特に利用頻度が高いと思われます。また昨今新たな機能を持った家電調理器も出てきており、特に利用頻度が高い電子レンジ、オーブントースターはスチーム機能が追加され、油を使わず電気で揚げ物が出来る調理家電や、電気での圧力鍋、蒸し器なども普及してきました。

これらの調理家電の利用機会が増えることに合わせて、製品事故の発生件数も増えており、2016年から2020年の5年間にNITE（ナイト）に通知のあった製品事故情報^{※1}では、調理家電の事故が490件ありました。そのうち東北地区における調理家電の事故は17件発生しており、電子レンジ、IH調理器、電気調理器具（電気オーブン、コーヒーメーカー等）などの事故が発生しています。東北での事故の被害状況は、製品破損や拡大被害が多く、軽傷は1件です。全国的には死亡事故が7件も発生しています。

日常的に便利に利用しています調理家電の取り扱いについて、改めて注意を払い、事故を未然に防ぎましょう。

（※1）消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含める。



（イメージです。）

表1 調理家電での年度別事故発生件数

発生年度	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
2016年度	0	1	2	0	0	0	3
2017年度	1	0	3	0	1	2	7
2018年度	1	0	0	0	0	0	1
2019年度	1	0	1	1	0	1	4
2020年度	0	0	1	0	0	1	2
合計	3	1	7	1	1	4	17

表2 調理家電での事故の被害状況別発生件数

被害状況	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
死亡	0	0	0	0	0	0	0
重傷	0	0	0	0	0	0	0
軽傷	0	0	1	0	0	0	1
拡大被害	0	0	4	0	1	1	6
製品破損	3	1	2	0	0	3	9
被害なし	0	0	0	1	0	0	1
合計	3	1	7	1	1	4	17

表3 調理家電での事故の原因区分別発生件数

原因区分	発生県						合計	
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島		
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	0	1	1	0	1	1	4
	B: 製品及び使い方に問題があったもの	0	0	1	0	0	0	1
	C: 経年劣化によるもの	0	0	0	0	0	1	1
	G3: 製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	0	0	1	1	0	0	2
製品に起因しない事故	D: 施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	E: 誤使用や不注意によるもの	1	0	2	0	0	1	4
	F: その他製品に起因しないもの	0	0	1	0	0	0	1
G1、G2: 原因不明のもの		2	0	0	0	0	0	2
H: 調査中のもの		0	0	1	0	0	1	2
合計		3	1	7	1	1	4	17

2. 主な事故事例

○2017年10月27日 電子レンジ(山形県、年齢性別不明)

事故内容: 電子レンジを使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因: 当該製品のドアの開閉を検知するスイッチの製造不良により、接点部でスパークが発生し、火災に至ったものと考えられる。

○2019年7月7日 電気こんろ(宮城県、50歳代男性)

事故内容: 電気こんろの周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因: 電気こんろに出火に至る異常が認められなかったこと及び使用状況から、何らかの原因によりスイッチが入り、電気こんろの上に置かれていた可燃物が、ヒーターの熱で加熱されて出火に至ったものと考えられる。

○2016年3月29日 電気調理器具(コーヒーマーカー) (岩手県、男性、年齢不明)

事故内容: 使用中のコーヒーマーカーから発煙し、本体の一部が溶融した。

事故原因: ヒーターのファストン端子を接続する工程で作業不良があったため、接触不良が生じて異常発熱し、付近の外郭樹脂が焼損したものと推定される。

○2017年5月26日 電気オーブン(福島県、年齢性別不明)

事故内容: 電気オーブントースターを使用中、庫内に手をいれたところ、感電した。

事故原因: ヒーター管を保持する絶縁用碍子の固定が不十分であったため、ヒーター管が外れた際にヒーター線が金属製筐体に接触して漏電し、感電したものと推定される。

○2017年11月13日 電気オーブンレンジ(スチーム機能付き)(青森県、50歳代女性)

事故内容: 電気オーブンレンジを使用中、庫内から発火した。

事故原因: 庫内に食品カス等の汚れが付着した状態で、少量の食品の加熱調理を行っていたため、マイクロ波が食品カスに集中し、発火したものと推定される。なお、取扱説明書には、「食品等で汚れたままにしない。電波が集中して火花の発生や発煙、発火の恐れがある。」旨、記載されている。

○2019年6月8日 電気オーブントースター(秋田県、年代性別不明)

事故内容: 電気オーブントースターが勝手に作動し、異臭がした。

事故原因: ヒーターへの通電を制御するリレー基板に不具合が生じたため、誤作動でヒーターに通電されて庫内を加熱し、異臭がしたものと推定されるが、基板に不具合が生じた原因の特定はできなかった。

3. 製品事故の実験映像につきまして

製品事故の写真及び動画をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

【編集人のつぶやき】

今年のGWも昨年に引き続き、里帰りや旅行には行けず、ほとんどの日を家で過ごしました。またスポーツもしばらくお休み、在宅勤務も増えてしまったことを言い訳に、体重増加してしまいました。揚げ物に第3のビール！が好きな編集人が最近気になる商品は「ノンフライヤー」です。熱と空気で揚げ物が出来るなんて、カロリー控えめでマイナス0kg！の目標にも効果が期待されます！。もはや揚げ物ではなく、焼き物？という気もしますが、そんなことは置いといて、とても気になる調理家電です。このノンフライヤーという製品を少し考えても、熱風を循環させるらしいので、かなりの高温になることが予想されます。食材のセットの仕方や、製品本体の周囲に熱の影響は無いのかなど、きっと取扱説明書には重要なことが書いているはずですが。編集人はこれまで「購入したらとりあえず使ってみる。」派だったのですが、そんな考えは改めて、取扱説明書の警告・注意表示をよく確認し、どんな製品でも、事故を起こさないよう、安全な使用に心がけたいと思います。

身近な調理家電について、取扱説明書を再確認することで安全に利用し、事故を未然に防ぐとともに、おうちでの食事を楽しいひとときにしましょう！

(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

独立行政法人製品評価技術基盤機構 東北支所

ナイト

(略称:NITE)

担当:、齋藤(さいとう)、照井(てるい)、福井(ふくい)

電話:022-256-6423

mailto: jiko-tohoku@nite.go.jp

NITE
ホームページ



YouTube
公式チャンネル



Twitter
公式アカウント

